

働き方改革 公務員こそ

育児上司が応援

時間外は事前承認

神戸で事例発表

自治体の働き方改革を考えるフォーラムが1日、神戸市中央区の市産業振興センターであった。コンサルタントら約80人が所属するグループ「WLB(ワーク・ライフ・バランス)関西」(神戸市中央区)が初めて企画。岩手県や福岡県など全国各地から行政の職員ら約80人が参加し、先進事例から改革のヒントを探った。

(末永陽子)

民間企業で働き方の見直しが進んでいるが、自治体や中央省庁などに勤める公務員も、行政サービスの多様な働き方が求められている。



多様な業務の長時間化、人手不足などを背景に、長時間勤務の是正や多様な働き方が求められている。

先進自治体として、福島県須賀川市と大阪府四條畷市が具体策を発表した。須賀川市役所では、幹部らが昨年4月、子育てや介護を抱える部下職員を応援する上司を目指す「イクボス宣言」を実施。担当者が、全

自治体職員らを対象に開かれた働き方改革フォーラム。神戸市中央区東川崎町1

職員を対象とした研修や庁舎の家族見学会などの取り組みを紹介した。

四條畷市は、管理シートを使った業務の共有化や時間外勤務の事前承認を導入。当初は職員から反発や

「高プロ」反対
連合兵庫訴え

神戸

働き方改革関連法案に盛り込まれた高所得の専門職を労働時間規制から外す「高度プロフェッショナル制度(高プロ)」に反対し、連合兵庫は1日、神戸市内で街頭演説を行った。連合が全国各地で行う一斉行動の一環。

JR元町駅前立った連合兵庫の辻芳治会長は「経営側に都合のいい、働かせ方改革」にならなければならない

六甲山活性化 国予算に要望

神戸市

神戸市は1日、国の2019年度予算に対し、新規11項目を含む計89項目の要望を発表した。重点項目の柱には人口減少社会への対

戸惑いもあったが、少しずつ意識改革を進め、結果的に残業削減につながったという。東修平市長は「自治体の課題は複雑で多様にな



り、従来の画一的なルールは通用しない。柔軟で余裕のある職員が求められている」と改革の必要性を強調した。

応をはじめ、陸海空の交通インフラの機能強化や都心・三宮の再整備推進、神戸観光の推進などを挙げた。

神戸観光の推進では、六甲山を活用したにぎわいづくりに向けた支援を要望。市や兵庫県は山上で増加する企業保養所など遊休施設の利活用を促しているが、瀬戸内海国立公園内では自然公園法により、新築や増改築の規制があり民間開発が進みにくいと、建築物の高さや面積の規制緩和などを求めている。

新規項目には、大型化するクルーズ船に対応できる拠点整備への支援▽2019年のラグビーワールドカップ神戸開催に向けた誘客の推進▽高齢障害者に配慮した特別養護老人ホームを支援する「親なき後」対策の強化などを盛り込んだ。

(末永陽子)

(石沢菜々子)

ブラジル移民船110年 現地訪ねよう

県国際交流協会 来月14~24日、参加者募集

日本最初のブラジル移民船が神戸港を出航したことに合わせ、兵庫で開かれる記念旅行団の参加者を募集する。旅行日程は7月14日(土)オデッサネイロ界三大瀑布の観光。20日と21日ある記念式典に会場のついでに参加者は47万チャージなどの人。7日締め切り受け付け終了)会費078・29時~午後5時

大臣

スタッフからドクターカーの説明を受ける奥野総務副大臣(中央)ニ尾崎市東灘波町2

はなかった3次救急対応の救命救急センター、総合周産期母子医療センター